

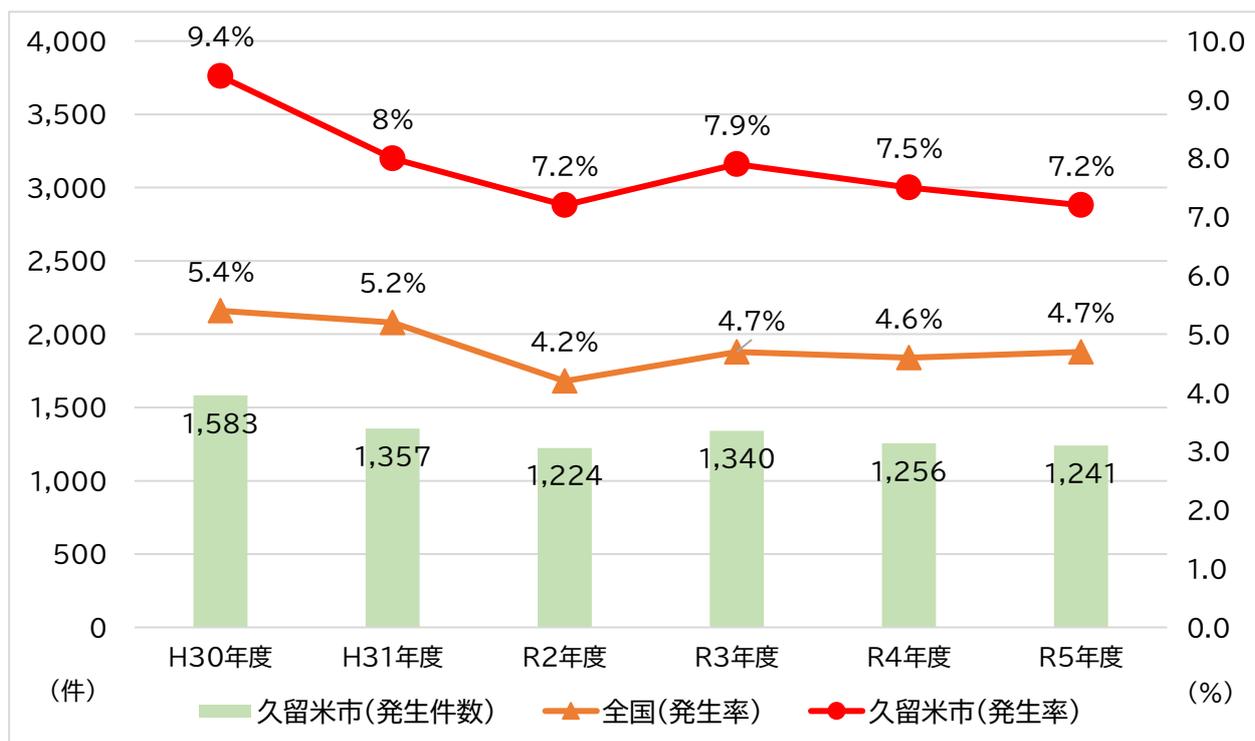
## 8 児童のけが等に関する状況

重点分野:子どもの安全

(日本スポーツ振興センター災害給付データ、久留米市教育委員会等統計等)

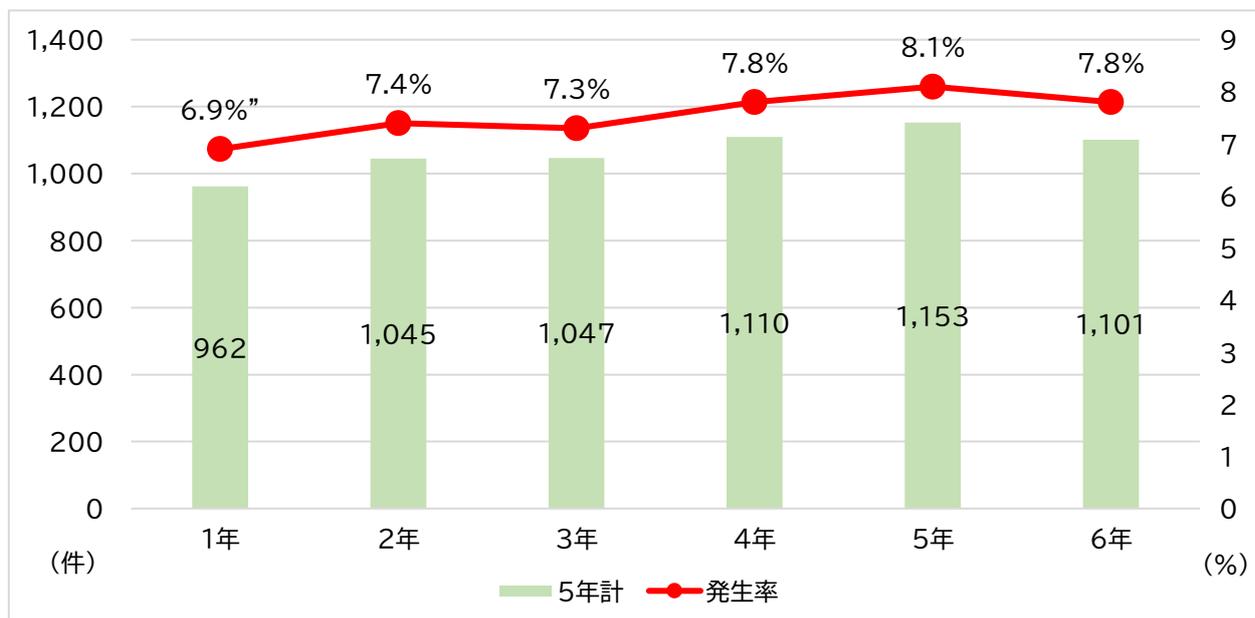
### (1) [図 8-1]小学校におけるけがの発生件数と発生率（けがの発生件数／児童数）

市内の小学校での児童のけがの発生件数、及び発生率は減少傾向にあるが、けがの発生率は全国の値を上回っている。



### (2) [図 8-2]小学校における学年別のけがの発生件数と発生率（R1～R5 累計）

学年が上がると、けがの発生件数、及び発生率は増加する。



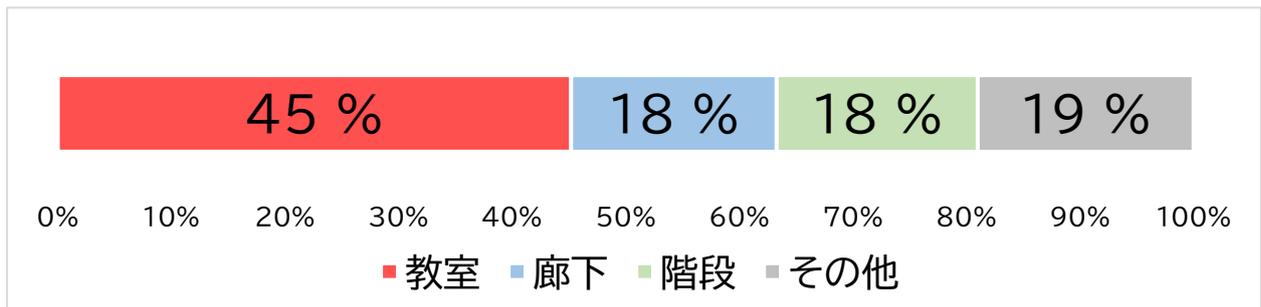
(3) [図 8-3]小学校におけるけが発生時の状況 (R1~R5 年合計)

体育の授業を除くと、けがのほとんどは休憩時間に発生している。

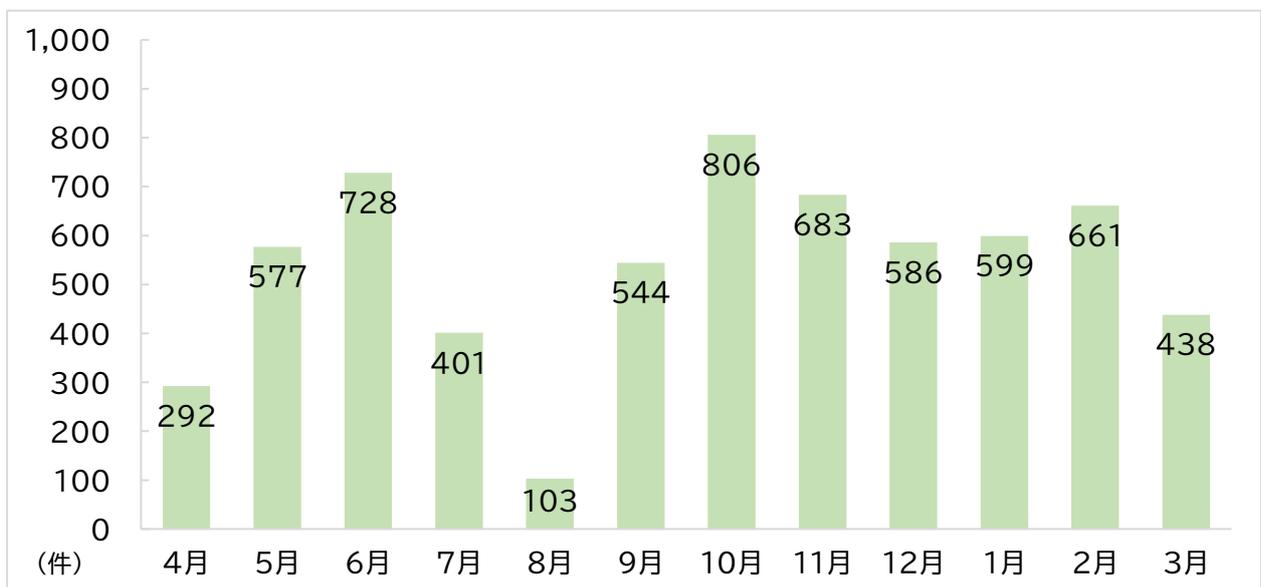


(4) [図 8-4]校舎内における小学校の休憩時間中のけがの発生場所の割合 (R1~R5 合計)

休憩時間のけがの多くは、教室で発生している。



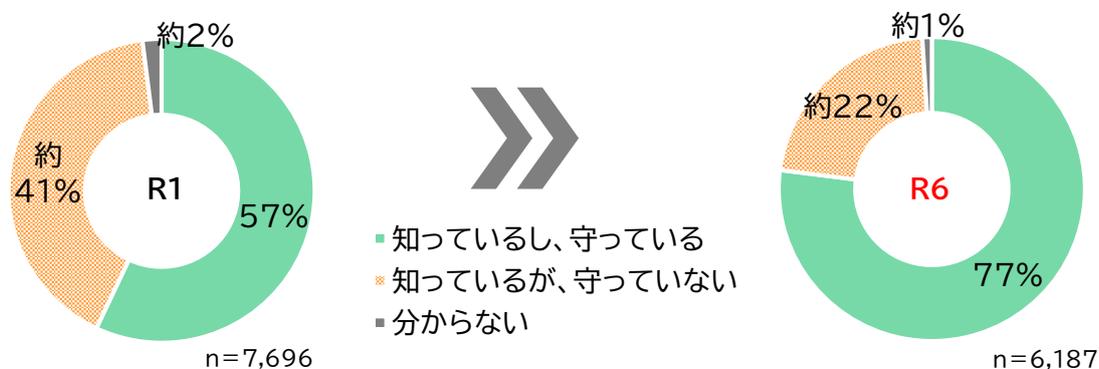
(5) [図 8-5]小学校における月別のけが発生件数 (R1~R5 合計)



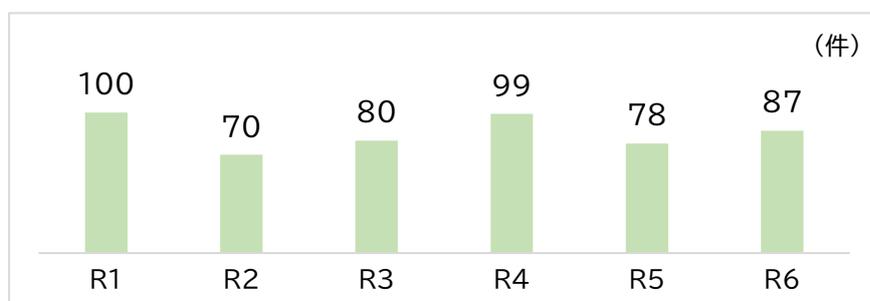
(6) 児童の意識 (あんぜんアンケート)

■ [図 8-6] 校舎内で安全に過ごすためのルールを守っているかとの質問への回答

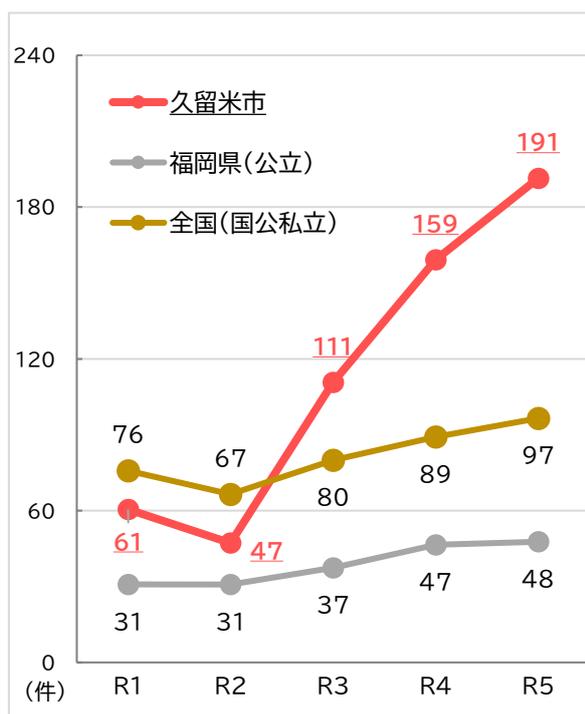
令和元年から令和6年にかけて、「知っているし、守っている」と答えた割合は増加している。しかし、約5人に1人は「知っているが、守っていない」と答えている。



(7) [図 8-8] 不審者情報の報告件数の推移 (久留米市学校教育課統計)



(8) [図 8-9] 児童 1,000 人あたりの小学校のいじめの認知件数



(9) [図 8-10] 久留米市の小学校におけるいじめの認知件数と解消率

